

富谷小だより

渋谷区立
富谷小
学校通信

世界に一つだけの作品に込めた思いを届けよう！

副校長 西村 綾乃

先日は、土曜日公開授業の参観、ありがとうございました。2020年東京オリンピック・パラリンピック大会 車いすバスケットボールの日本代表選手候補である土子大輔選手にお越しいただき、「共生社会を生きるために」をテーマにご講演いただきました。実技披露では見事な車いすの技に子供たちも感嘆をもらす様子が見られました。本番に向けて努力する姿に、子供たちと共に熱い声援を送りたいと思います。

さて、先日テレビ番組の対談で、ある作家さんが、「師匠から教わったのは、芸の道は守・破・離だということです。」と言っていました。「守・破・離」とは修行における段階であり、物事を極めるための日本の伝統的な概念であるともいわれます。『守』とは、まず師匠の教えるとおりの型を素直に学ぶこと。『破』とは習得した型に疑問をもったり、工夫したりしたくなる段階で、基本の型の上にアレンジを加えていく段階です。そして『離』とは型に囚われず独自の道を追求していく段階であると言われていています。これは芸術・美術の世界で言われることもあるのだそうです。この話を聞いているうちに図工室の黒板に飾ってあった3年生の絵が思い出されました。題名は『ゴッホのひまわり』。かの有名な画家フィンセント・ファン・ゴッホの代表作で、独特のタッチと鮮やかな色合いの独特のスタイルです。そのゴッホ独特の燃えるような色彩を真似ながら、しかし一人一人の個性が感じられるたくさんの「ひまわり」が図工室の黒板を飾っていたのです。この学習はゴッホの原作からその特徴や表現の工夫を見出し、その表現の工夫を真似ながら(守)、自分の感じるひまわりの模写をする(破)。模写であるにもかかわらず、一人一人の捉え方を作品に込めた異なる作品となっていました。ゴッホの模写であって、模写にとどまらない子供たちの力強さ、たくましさ、そして創造力で思わず感動する作品に仕上がりました。

本校では、子供たちの創造力にあふれた素敵な作品を「令和元年度作品展」でご覧いただきます。2月13日(木)から2月15日(土)まで、校舎内に平面や立体が飾られます。どの作品も、心を込めて作成した大切な宝物です。作者の込める思いを感じ取りながら、世界に一つだけの作品を多くの方に鑑賞していただけたら幸いです。

2月行事予定

日	曜	学 校 行 事 等
1	土	
2	日	
3	月	児童朝会 安全指導 クラブ活動⑩(3年見学)
4	火	
5	水	体育朝会
6	木	5時間授業 学校保健委員会
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	児童朝会 委員会活動⑩
11	火	建国記念の日
12	水	まなび～
13	木	作品展始
14	金	
15	土	土曜日授業 作品展終
16	日	
17	月	児童朝会 作品展搬出 クラブ活動⑪
18	火	卒業記念校外学習(6年)
19	水	音楽朝会 青山スクール交流会(6年) まなび～
20	木	社会科見学(5年)
21	金	TOKYO GLOBAL GATEWAY 校外学習(4年)
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	児童集会
27	木	4時間授業(1～4年)
28	金	
29	土	土曜日授業 移杖式 保護者会(全)

※ 2月の避難訓練は予告なしで行います。

【3月の主な行事予定】

6日(金)6年生を送る会

9日(月)～16日(月)いずみ個人面談

23日(月)大掃除 給食終 卒業証書授与式予行練習(5・6年)

24日(火)修了式

25日(水)卒業証書授与式(5・6年)

書き初め展

(1月15日～1月27日)

国語科担当:青原 智美

新しい年を迎え、1月15日から27日まで、校内で書き初め展を行いました。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆です。

「書き初め」は、正月二日を一年間の事始めとし、その年の心構えや抱負などを書き記し精進すると、一年間が安泰であるといわれていることから始まったそうです。また、習いごとなどもこの日に始めると一年間充実すると言われていいます。新年の始まりに、子供たちが新たな気持ちで真剣に取り組みました。

